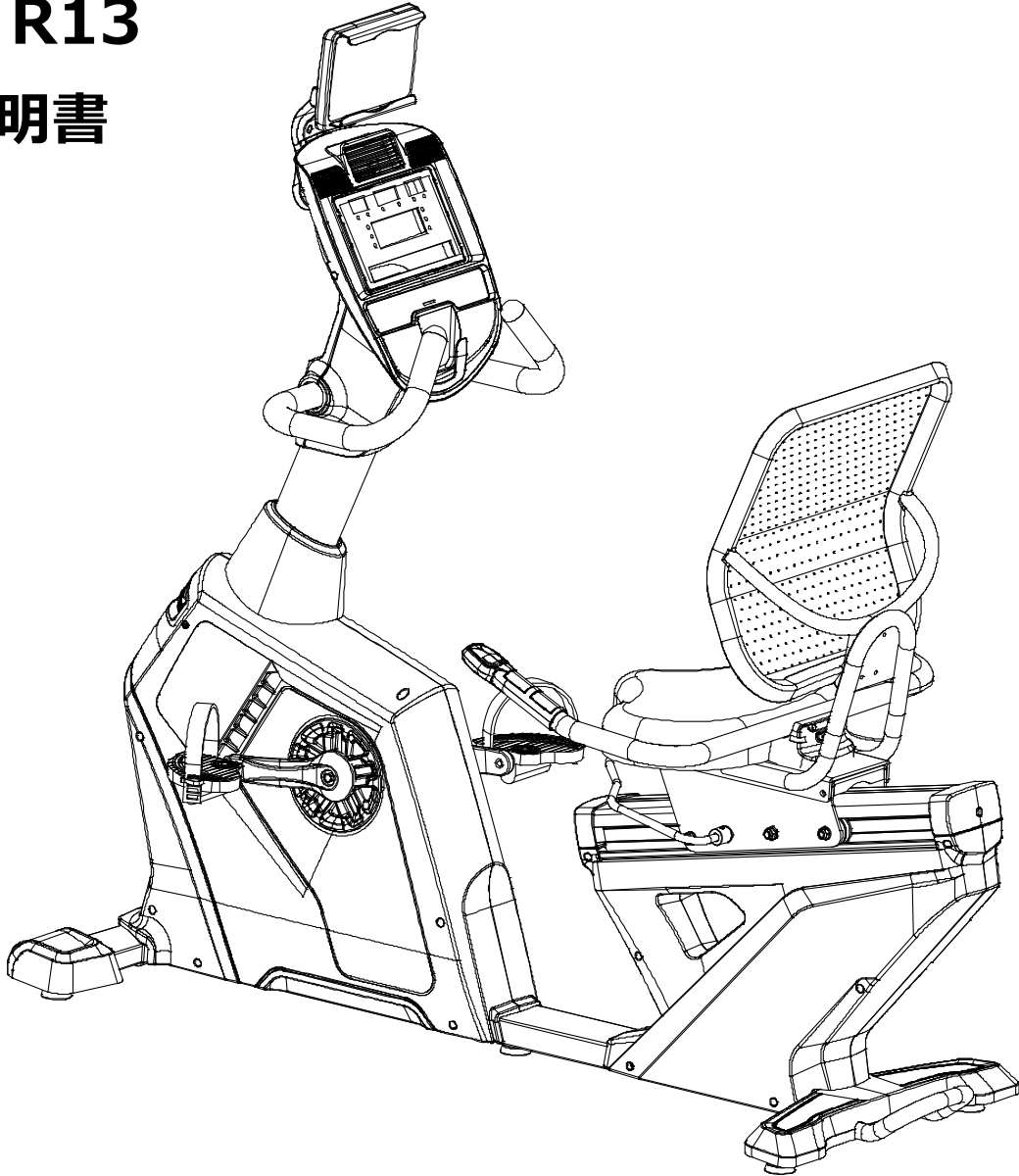




リカンベントバイク（準業務用）

DK-R13

取扱説明書



この度は【リカンベントバイク(準業務用)DK-R13】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ 本説明書を最後までお読み頂き、内容を理解した上で組立作業や運動を行うようにして下さい。
- ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えまたは購入日が証明できる書類等とともに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は準業務用に開発してあります。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。
- ◎ 計測数値等に関しましては、誤差がございますので御了承ください。
- ◎ 検品等のための組み傷や大型商品のため多少の小傷等が発生することがございますのでご了承ください。

※本製品はジェネレーターを使用しており、ノイズ等が発生することがありますのでペースメーカーをご使用の方はかかりつけ医等にご相談の上ご使用になってください。

本機の近くに電子機器を近づけると故障する恐れがございます。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動される際には、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をもちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申し付け下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルや手すりにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 8) ジェネレーターを使用しているためノイズが発生することがございますので、ご了承ください。

☆電気器具の警告事項

蓄電池保護のため120分以上の連続使用はおやめ下さい。

万一、異常な音、におい、煙が出たときには、販売店もしくは当社までご連絡下さい。

(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注意

☆使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の時は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は軽頻度のトレーニング機（準業務用）として作られていますので、本格的にトレーニングを行う施設等でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) **体重が140Kg以上の方はご使用なされないようにして下さい。**
- 8) サビの発生や調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外（屋根付きのガレージ等を含む）の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・室温差が著しく変化するところや床面がコンクリートの打ちっ放しのところ*本機の下だけにマット等を敷いている場合も含まれます。
- 9) 使用しない場合には、作動しない状況にし、特に幼児が触らない様注意して下さい。

☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 本機の本体部分に、電気機器等は絶対に置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- カバー類(エンド、本体カバー、柱類)、ハンドル部ラバー、本体、支柱等のへこみ、傷等に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故、電子機器の故障につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自自治体の方法に従って処理してください。

仕様

型番/DK-R13

品名/リカンベントバイク（準業務用）

材質・構造/スチールパイプ

ウレタン・ABS樹脂

本体サイズ/W73×L162×H157 (cm)

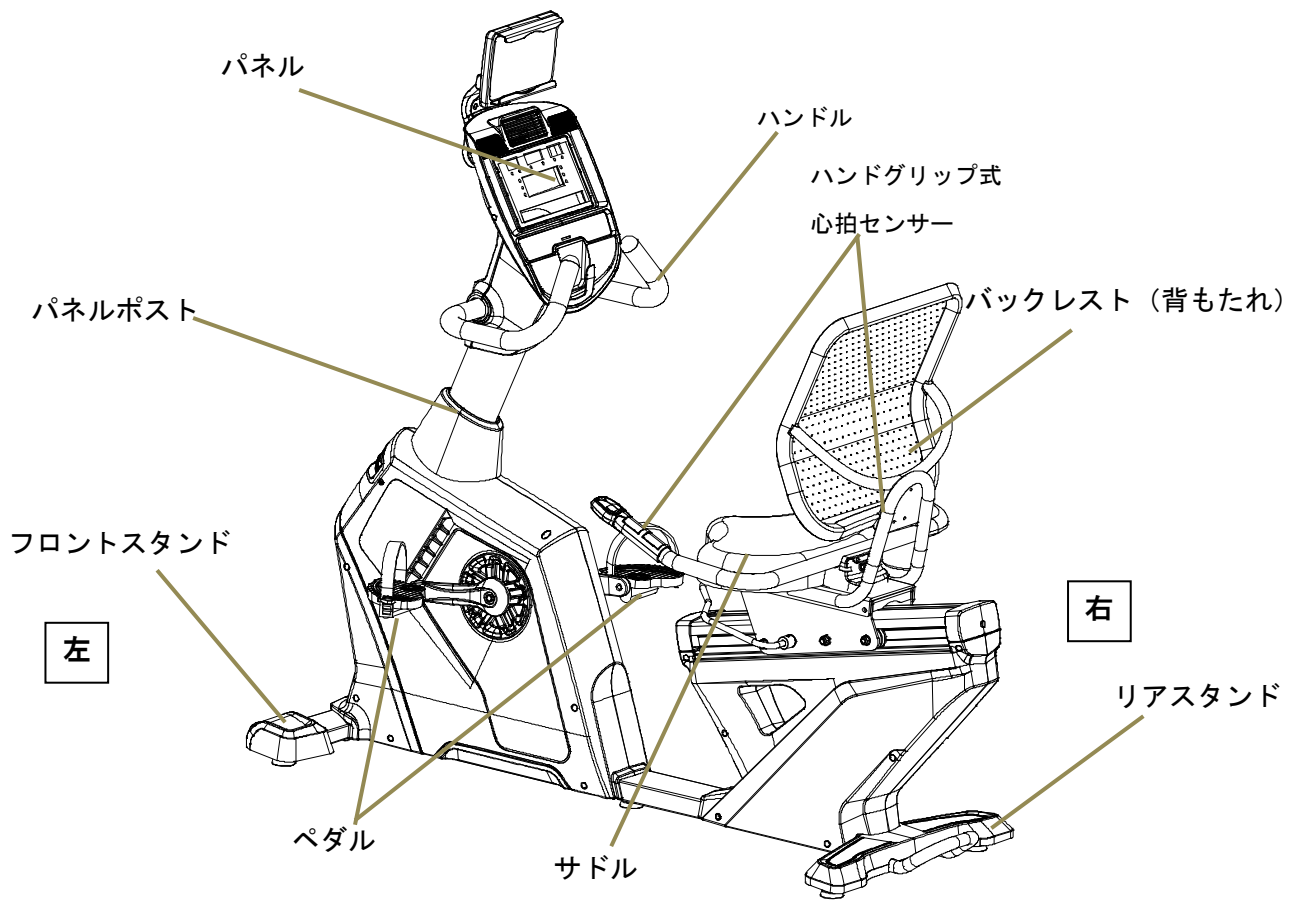
電源方式/自家発電方式

負荷調整/電動式（20段階）

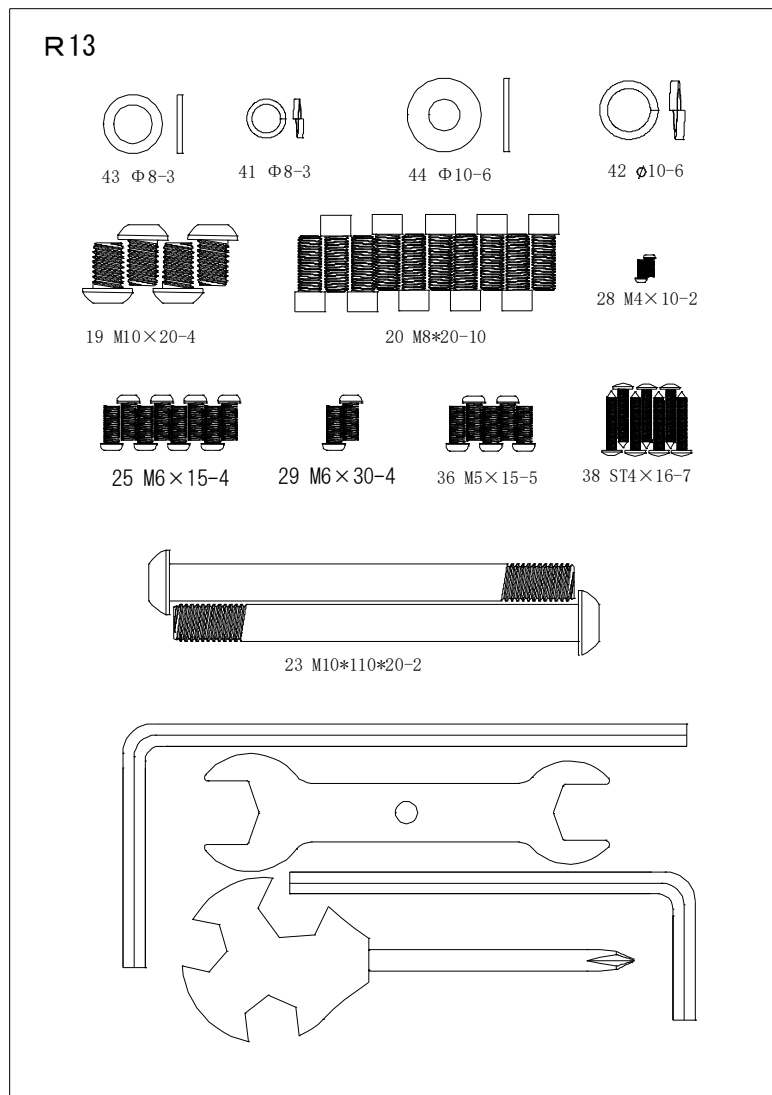
簡易脈拍方式/ハンドクリップ式

生産国/中国

本体重量/83 kg



※アジャスターはフロントスタンド、リアスタンド下にあり、回転させることにより段差を調整することが可能です。



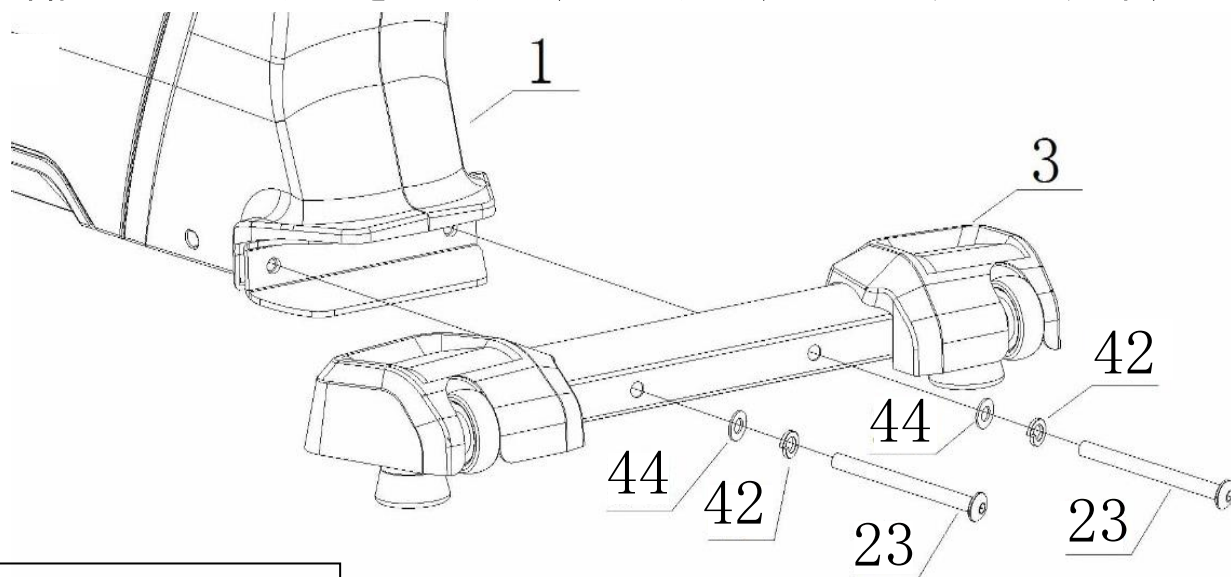
組立説明

組立を始める前のご注意

- ※ ボルト等は本体に仮止めされているものがありますので、その都度確認をしてから組立を行ってください。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。
- ※ 組立時、ボルトは仮止めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。

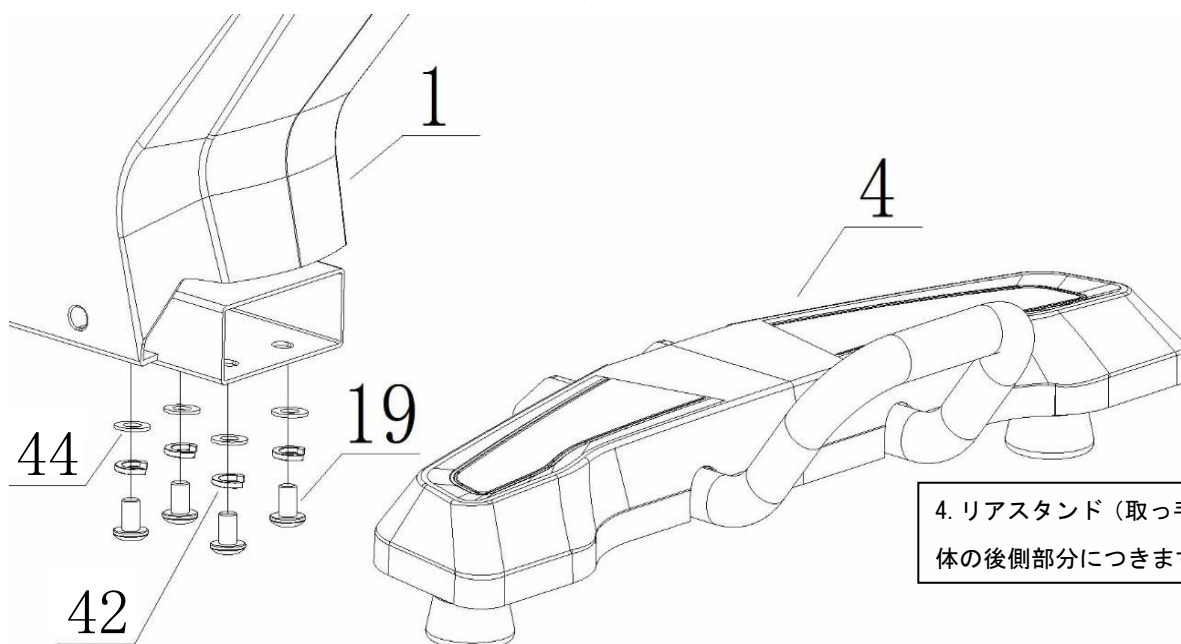
組立方法

1 : 1. 本体に 3. フロントスタンドを 44. ワッシャ、42. S ワッシャ、23. ボルト (M10×110) で固定します。



3. フロントスタンド（車輪付き）が
本体の前側部分につきます。

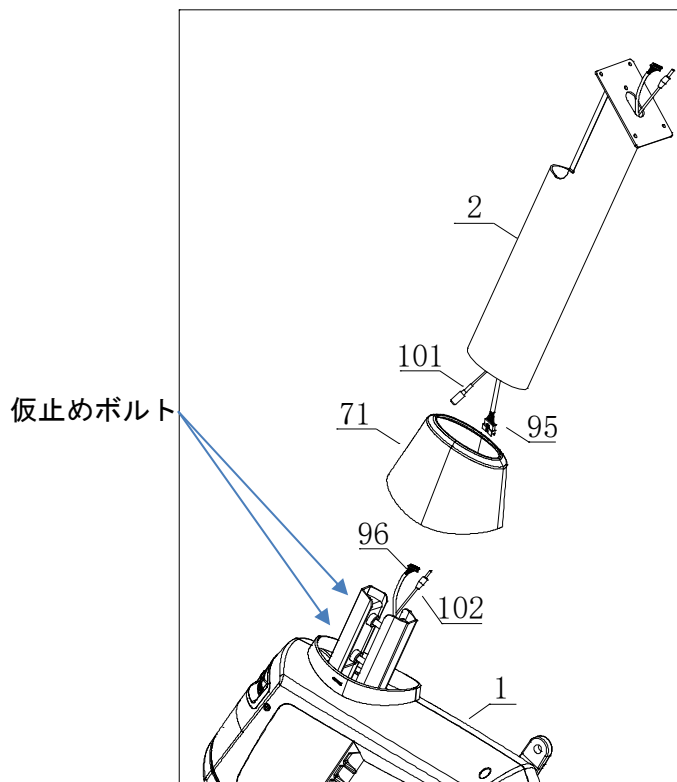
2 : 1. 本体に 4. リアスタンドを差込み、44. ワッシャ、42. S ワッシャ、19. ボルト (M10×20) で固定します。



4. リアスタンド（取っ手付き）が本
体の後側部分につきます。

2 : ①2. パネルポストに 71. パネルポストカバーを差し込みます。

②1. 本体から出ている 102. ケーブルと 2. パネルポストから出ている 101. ケーブル、1. 本体から出ている 96. ケーブルと 2. パネルポストから出ている 95. ケーブルを接続し、ケーブルを挟まないように、2. パネルポストを 1. 本体に差し込み、仮止めボルトを締めて固定します、最後に 71. パネルポストカバーを下ろします。



ワンポイント

仮止めボルトはネジを締めこむと内部の 2 本の柱が徐々に開き 2. パネルポストを固定します。組立後 2. パネルポストが前後に動いてしまう場合は仮止めボルトがキチンと締めこまれていない為です。上側のネジを締めた後に下側のネジを締めるという順番を何回か繰り返して締め込みを行ってください。(締めながら 2. パネルポストを前後に揺らして、固定を確認してください。)

※パネルポスト固定の注意点

上側の穴のネジを最後まで締め込み、次に下側のネジを最後まで締めこんでください。

その後、上側を締め、また下側を締めることを繰り返してください。

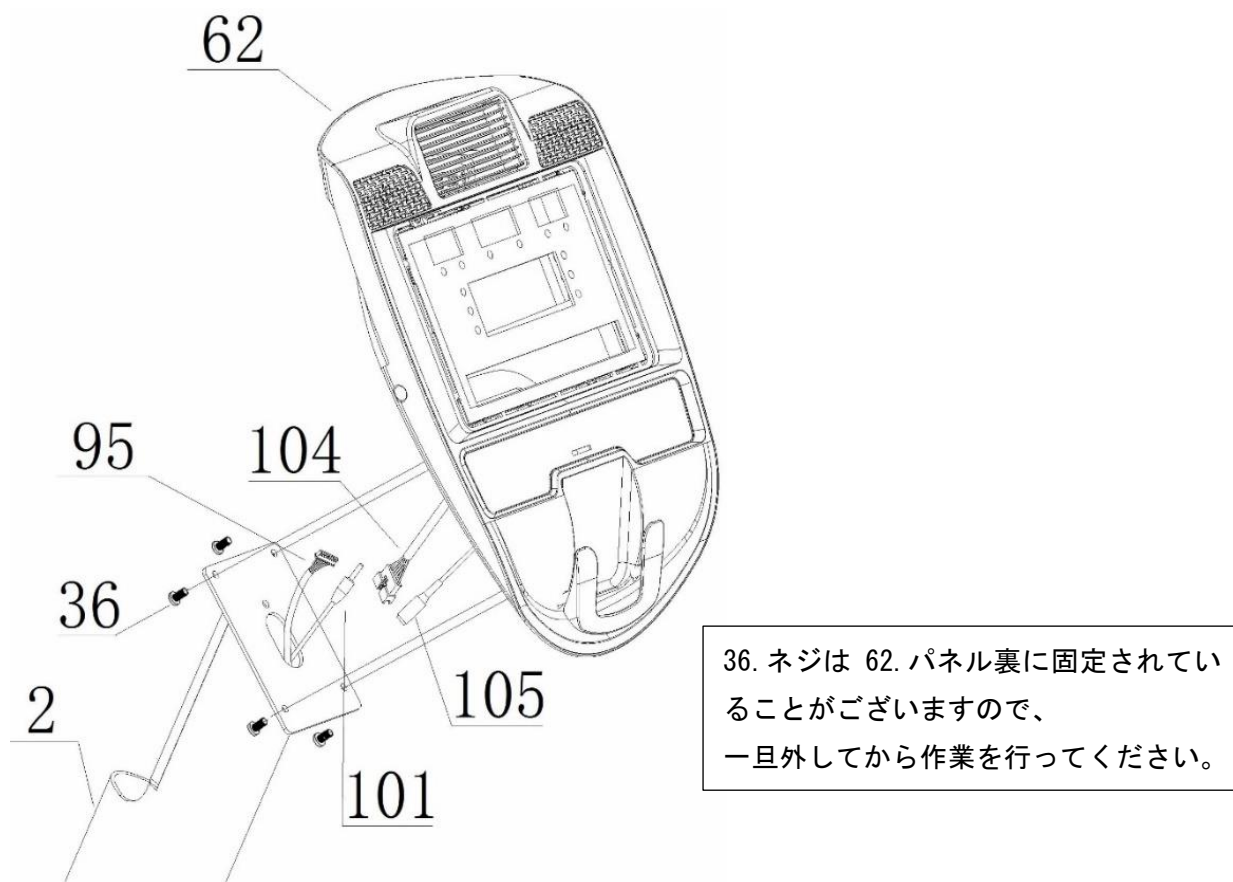
上下ともにネジが回らなくなったら、完了です。



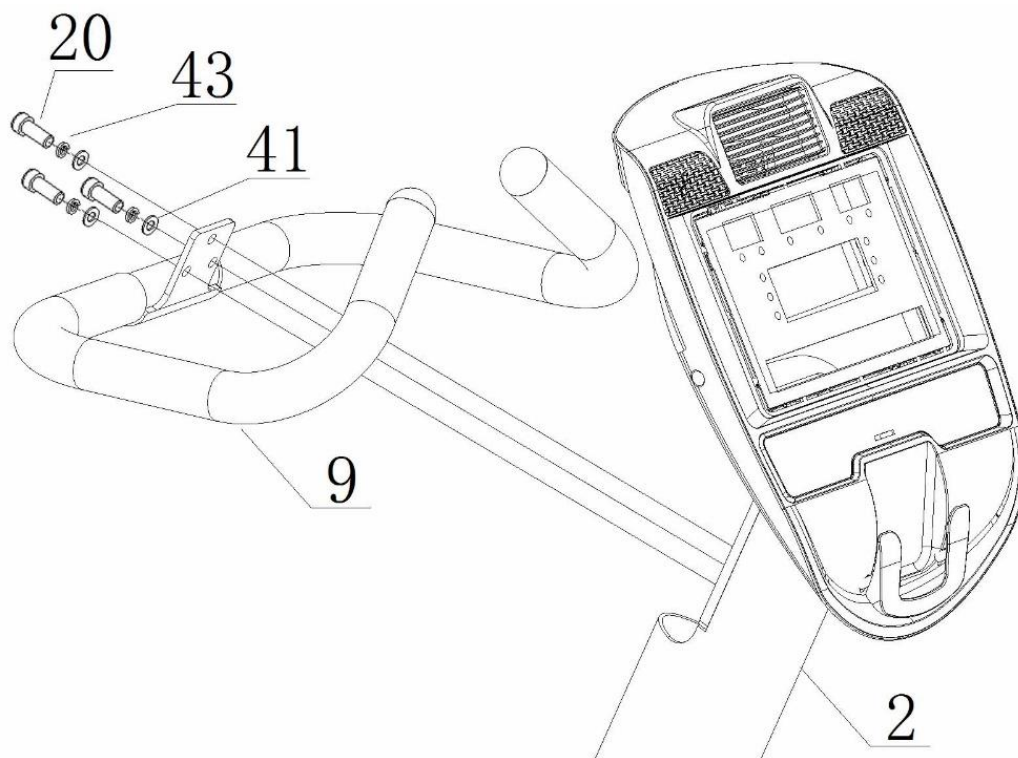
上下交互に繰り返し
締め込んでください



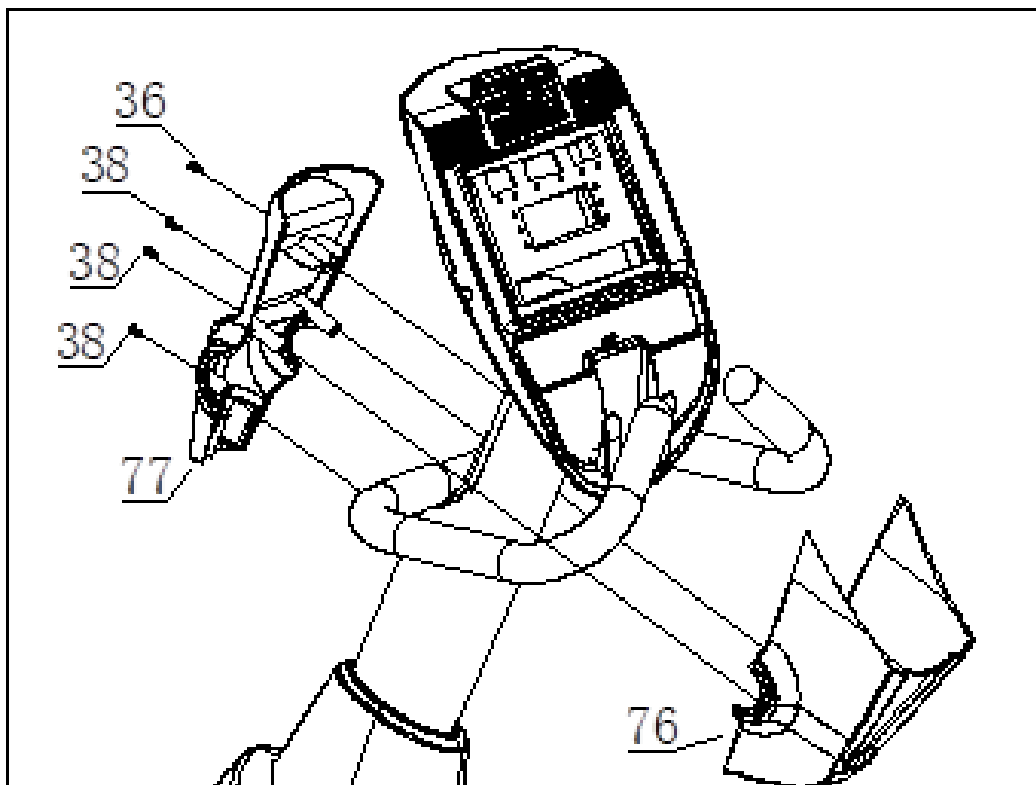
3 : 62. パネルから出ている 104. ケーブルと 2. パネルポストから出ている 95. ケーブル、62. パネルから出ている 105. ケーブルと 2. パネルポストから出ている 101. ケーブルを接続し、それぞれのケーブルを 2. パネルポストに収め、36. ネジで 62. パネルを固定します。



4 : 2. パネルポストに 9. ハンドルを 41. ワッシャ、43. S ワッシャ、20. ボルト (M8×20) で固定します。

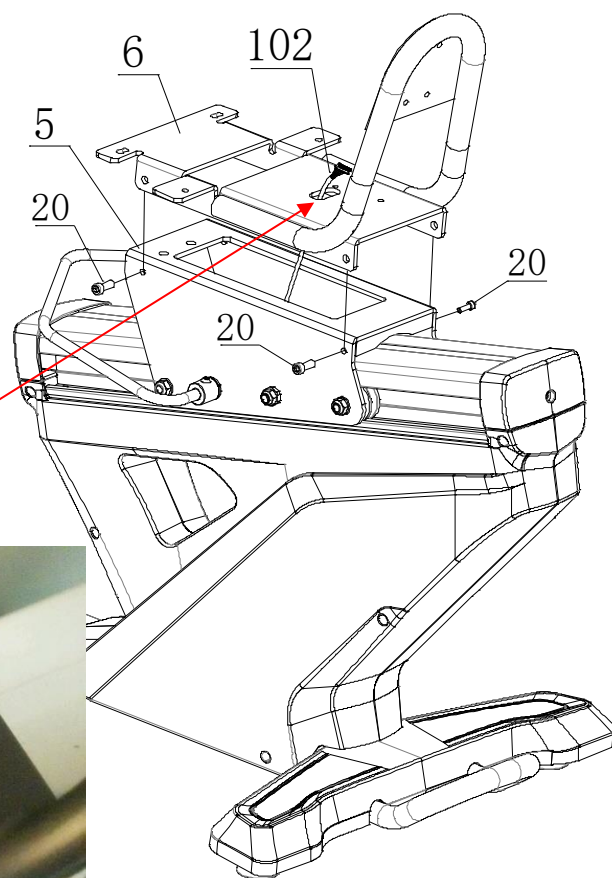
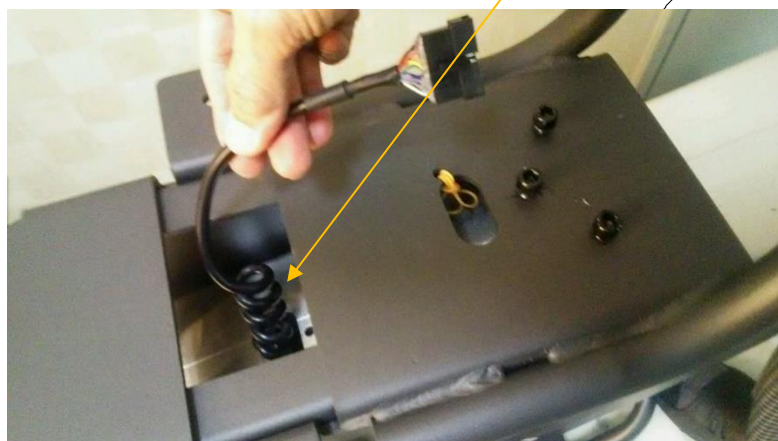


5 : 2. ハンドルポストに 77. ハンドルカバー-A、76. ハンドルカバー-B をあわせ、36. ボルトと 38. ボルトで固定します。

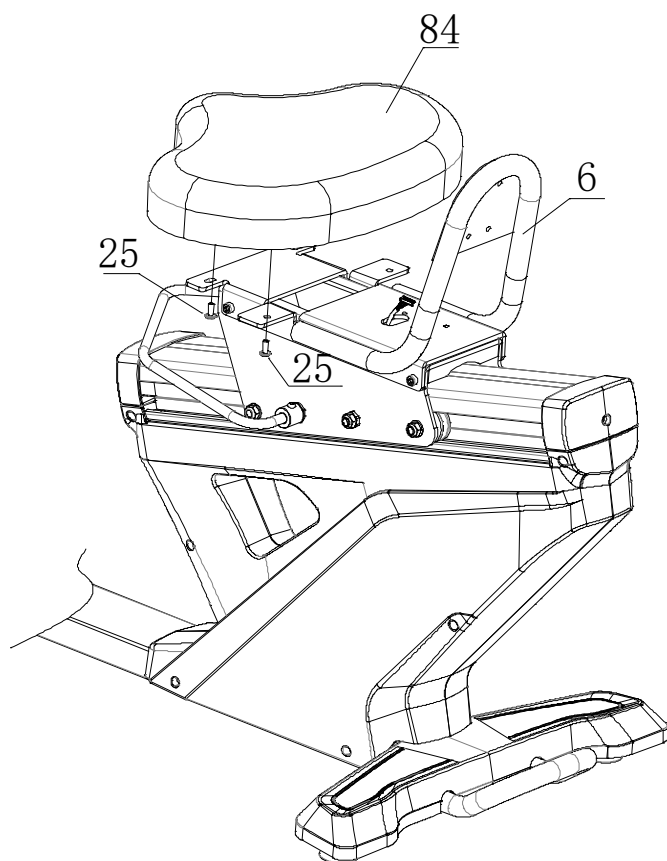


6. まずサドルハンドル脈拍のコンネクター (102) をサドルフレーム (6) を通します、その後サドルフレーム (6) をスライド装置 (5) にボルト (20) で固定します。

6. の組立の際に脈拍のコンネクターを下記写真のようにコイル状になったコード部分が3~4巻分出るまで引き出してから右イラストの様に穴に通してください。



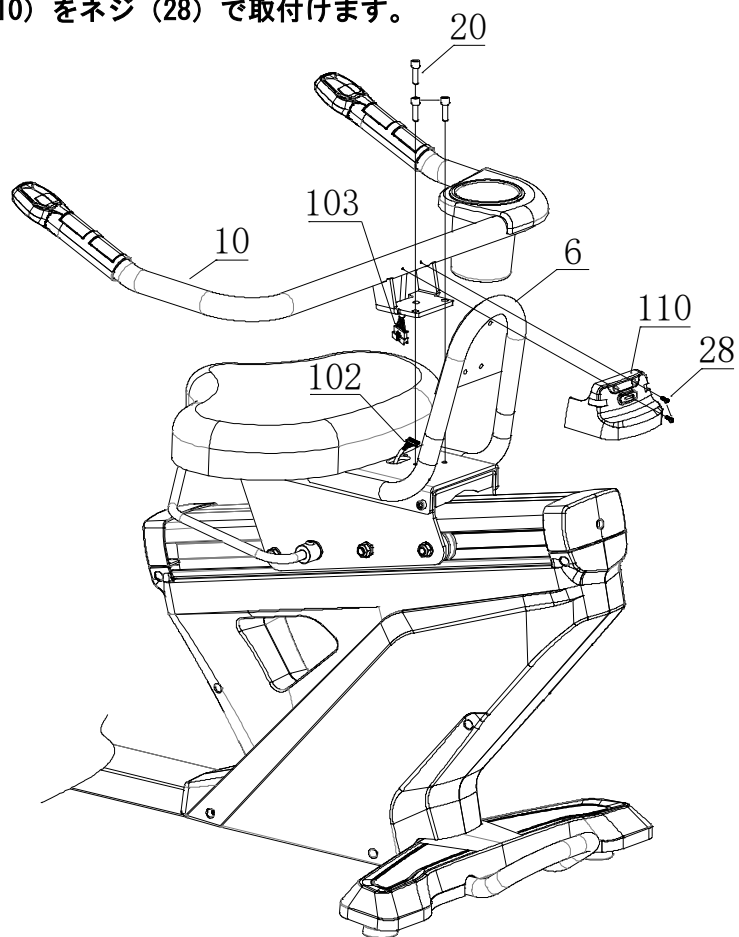
7. サドル (84) をボルト (25) でサドルフレームに固定します。



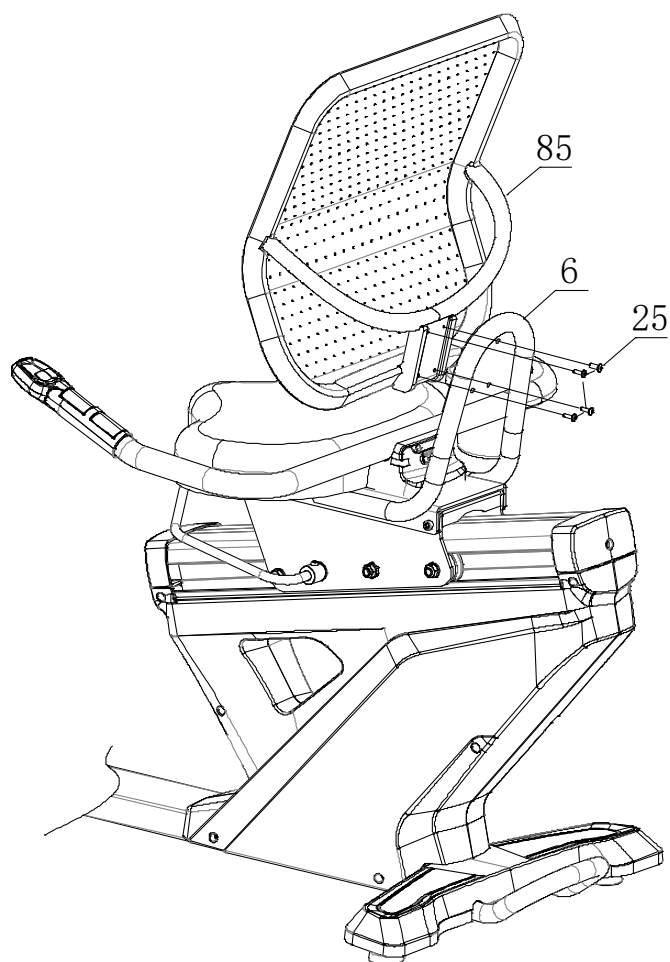
8. ハンドル脈拍コネクター (102) (103) を接続します。

サドルハンドル (10) をボルト (20) でサドルフレーム (6) に固定します。

ハンドルカバー (110) をネジ (28) で取付けます。



9. バックレスト (85) をボルト (25) でサドルフレーム (6) に固定します。

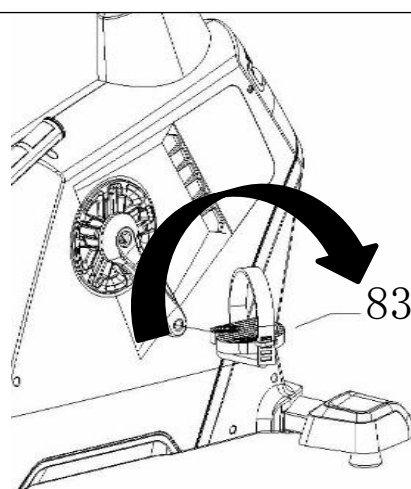
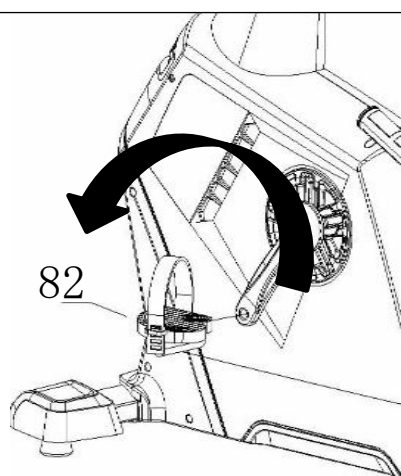


10. 左右のペダル (82・左、83・ペダル) を固定します。

<ご注意ください>

82・左ペダルを固定する場合際は反時計回り（左回り）にまわして固定します。

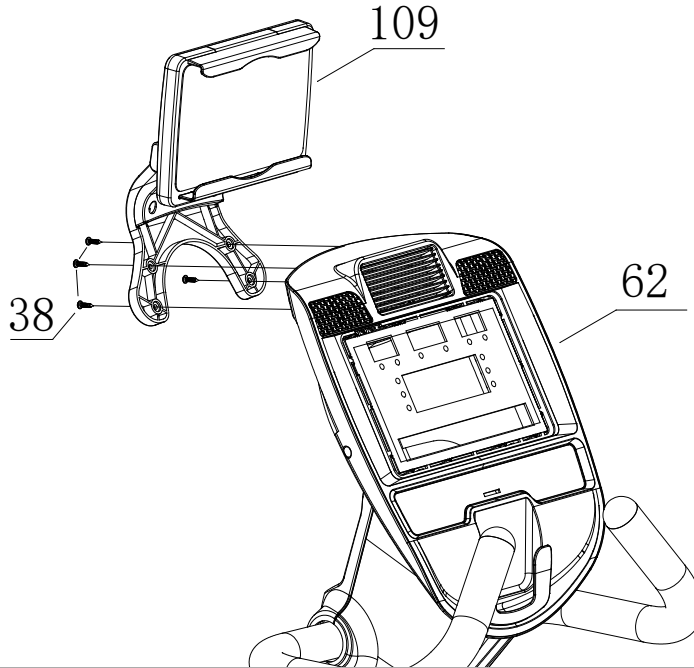
時計回りに回してしまいますとネジ山が潰れてしまいますので、ご注意願います。



ペダルの取り付けネジが問題なく穴の奥まで組み込めたら、最後に力を込めて締めこんでください。
運動中に体重の掛かる場所なので簡単に緩んでしまいます。

11. 109 タブレットホルダーを 38 ネジにて固定します。(お好みで取り付けてください。)

ここで仮止めにしていたネジ類を全て増し締めしてください。



<ワンポイント>

ご使用前に、サドル下の稼働ローラー部分へグリスアップをしていただくと、稼働をスムーズに保つことができます。

最後に…

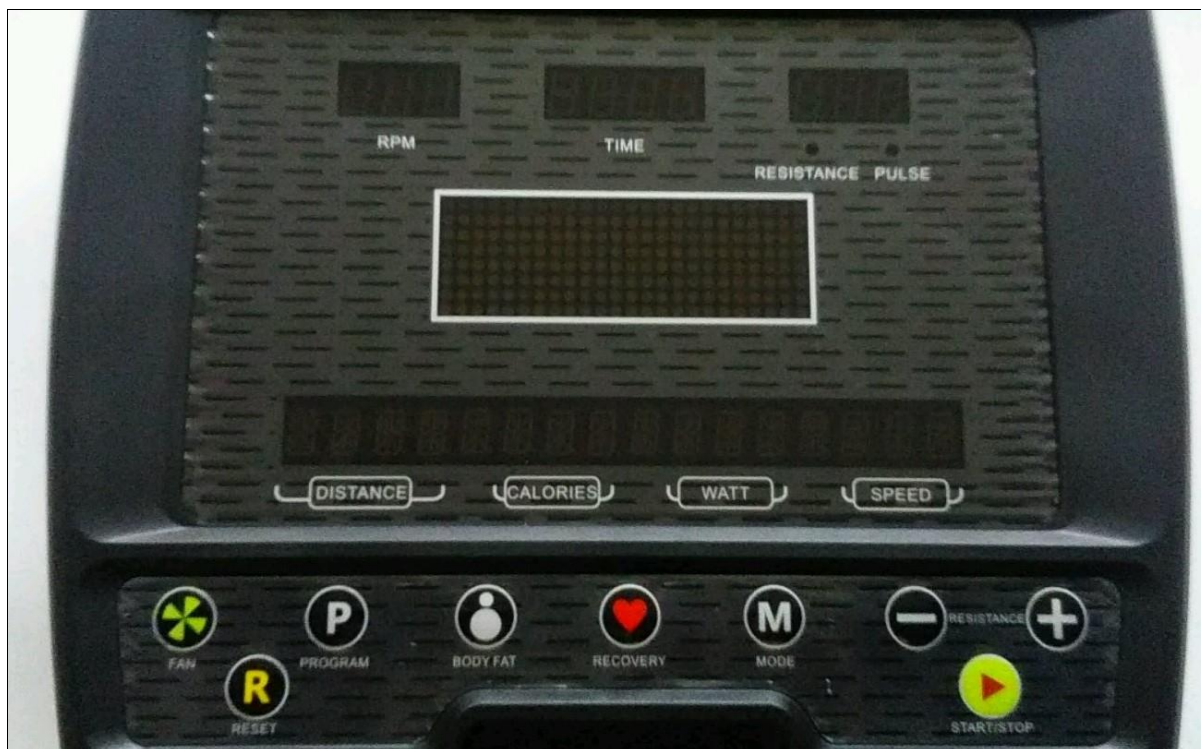
以上で組立の工程は終了です。

設置場所にてガタつきのある場合は本体下四隅にあるアジャスターで調整をお願いいたします。最後にペダルを漕いでパネルが立ち上がる事、スタートボタンを押した後+ボタンを何回か押すとペダルが重くなる事、その際にスピードやRPM（回転数）などがカウントする事を確認願います。

※以上が確認できない場合は組立工程 2, 3, 8 に立ち返り、コードの接続の確認をお願い致します。



パネルについて



●パネル操作ボタンについて

- ▶ (スタート/ストップボタン) 運動を開始するとき/終わるときに押します。
運動中に1回押すとポーズモード(一時停止)、2回続けて押すとエンドモード(終了)になります。
- + (アップボタン) 負荷を上げます/設定数値を選択
- (ダウンボタン) 負荷を下げます/設定数値を選択
- P (プログラムボタン) 運動開始前状態時にP00~P12→U1~U4→H1~H3でプログラムを選択
- M (モードボタン) 運動開始前状態時、TIME(時間)・DIS(距離)・CAL(カロリー)の目標値設定プログラムを選択/設定数値の確定/パネル表示切替
- R (リセットボタン) 停止状態時、長押しをすることにより表示がリセットされます。
- BODY FAT(ボディファット) 停止状態時、簡易体脂肪測定するボタン
- ♥ (リカバリーボタン) 運動終了後に、運動回復度を測定するボタン

●パネル表示について


- R P M 回転数を表示
- T I M E 運動している時間を表示。残り時間を表示(目標設定時)
- RESISTANCE/PULSE <RESISTANCE>運動時の負荷レベルを表示/<PULSE>ハンドルの心拍を握ったときに表示
- DISTANCE 運動を行った距離・(目標設定時)残り距離を表示(0.1km単位)
- CALORIES 動きに乗じたカロリーが表示/残りカロリーを表示(目標設定時)
- WATT 運動時のWATT量を表示
- SPEED 運動時の速度を表示

※パネルに「CHILD LOCK」と表示され場合、「START/STOP」+「M(MODE)」を同時に数秒押し解除してください。




※長い期間ご使用にならない場合には、内蔵されている充電電池内の電気が放電しているためパネル操作ができない場合がございます。その場合にはある程度本体で運動することにより、充電されパネル操作が可能になりますので、ご了承ください。

運動を行うには・・・

● クイックスタートをする・・・(はじめはこのメニューでお試してください。)

 (スタート/ストップ) ボタンを押して始めます！

すぐに運動を始めたい方、ご購入直後本機に慣れていない方にお勧めします。

- 1 ペダルに足をのせ、軽くこいでパネルを点灯させてください。
- 2 パネルの  を押し運動を開始してください。+・- ボタンを押すことにより負荷（ペダルの負荷）を1～20段階まで上下させる事が可能です。(運動中に  を押し「一時停止」します。再び運動を始める場合には、 を押し運動を再開してください。一時停止状態が連続して5分以上経過した場合、パネルの数値がリセットされます。) 運動中に「+・-」ボタンを押し、ペダルの負荷（こぐ重さ）を変えることができます。
- 3 本機を停止する場合は運動をやめてください。(オートオフで電源が落ちて終了します。)

● 目標を全て設定して運動をするには・・・

- 1 「リセット」ボタンを押してスタンバイモード（オール00表示）にしていただき、「P」ボタンを押して手動モードに入ります。
- 2 「M」ボタンを押して年齢を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 3 「M」ボタンを押して体重を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 4 「M」ボタンを押して時間を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 5 「M」ボタンを押して距離を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 6 「M」ボタンを押してカロリーを「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 7 「M」ボタンを押して最後に「スタート」を押して、運動を始めてください。
- 8 目標数値まで達しましたら終了になります。 ※設定時間は1分単位での設定となります。
※設定距離は0.1km単位での設定となります。 ※設定カロリーは1キロカロリー単位での設定となります。
※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

● 目標時間のみ設定をして運動をするには・・・

- 1 「リセット」ボタンを押してスタンバイモード（オール00表示）にしていただき、「P」ボタンを押して、次に「M」ボタンを3回押しするとTIME欄に24:00が点滅します。
- 2 「+・-」ボタンを押して数値を増減させ、数値を入力し、「スタート」ボタンを押します。
(運動中、負荷は任意で調整できます。)
- 3 目標数値まで達しましたら終了になります。 ※設定時間は1分単位での設定となります。
※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

● 目標距離のみ設定をして運動をするには・・・

- 1 「リセット」ボタンを押してスタンバイモード（オール00表示）にしていただき、「P」ボタンを押して、次に「M」ボタンを4回押しします。
- 2 DIS欄の数値を「+・-」ボタンを押して増減させ、数値を入力し、スタートボタンを押します。
(運動中、負荷は任意で調整できます。)
- 3 目標数値まで達しましたら終了になります。 ※設定距離は0.1km単位での設定となります。
※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

●目標カロリーのみ設定をして運動をするには・・・

- 1 「リセット」ボタンを押しスタンバイモード（オール 00 表示）にいただき、「P」ボタンを押し、次に「M」ボタンを5回押します。
 - 2 CAL欄の数値を「+・-」ボタンを押して増減させ、数値を入力し、スタートボタンを押します。
(運動中、負荷は任意で調整できます。)
 - 3 目標数値まで達しましたら終了になります。 ※設定カロリーは1キロカロリー単位での設定となります。
- ※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

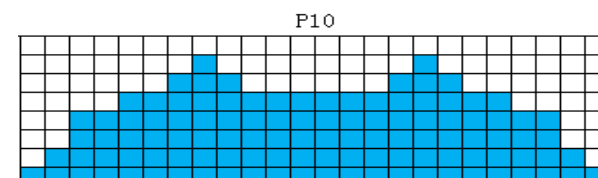
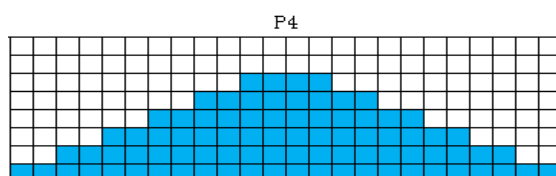
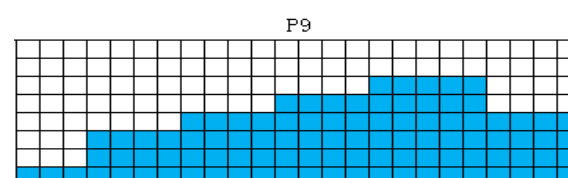
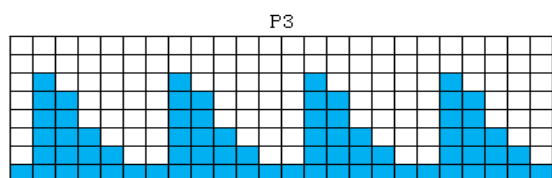
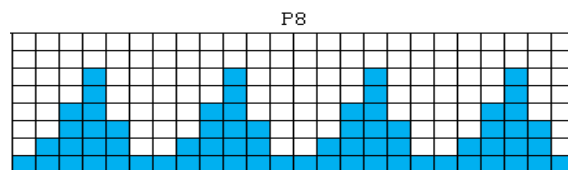
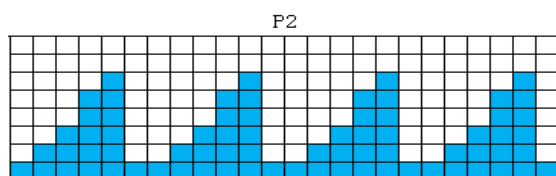
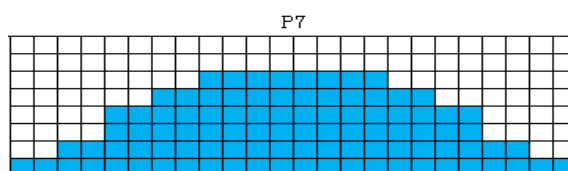
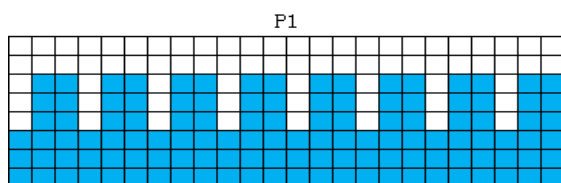
●内蔵プログラムを設定して運動をするには・・・

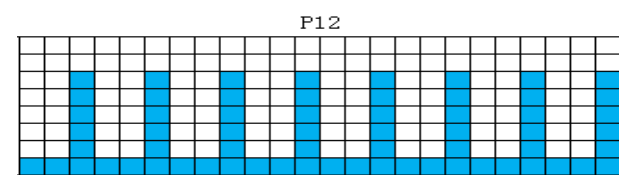
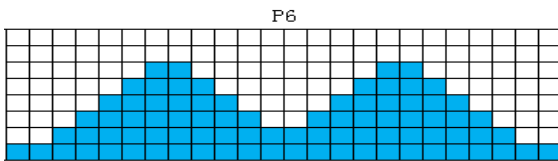
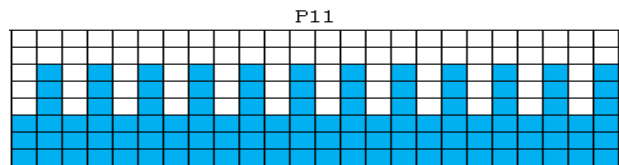
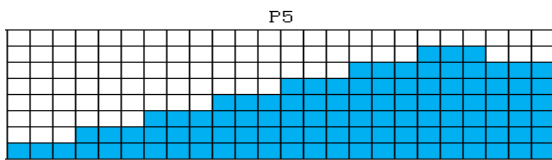
本製品には12パターンの自動負荷変化プログラムがございます。お好みのプログラムを選択して運動をおこなってください。

- 1 「リセット」ボタンを押しスタンバイモード（オール 00 表示）にいただき、「P」ボタンを2回押し、RPM欄に「P01」を表示させます。
 - 2 さらに「P」ボタンを押してお好みのプログラムメニューになりましたら次に「M」ボタンを押し、年齢を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
 - 3 「M」ボタンを押し体重を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
 - 4 「M」ボタンを押し時間を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
 - 4 「M」ボタンを押し、最後に「スタート」を押して運動を始めてください。
- ※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

内蔵プログラムは24段階になり、1段階当たりの時間は設定分数÷24になります。


<内蔵プログラム図表>





●ユーザー (U1~U4) プログラム ※ユーザープログラムは内容により保存できないこともございます。
お好みで 24 段階の「負荷」をランダムに選択して行うプログラムです。

設定方法

- 1 「リセット」ボタンを押しスタンバイモード (オール 00 表示) にしていただき、「P」を押し (14 回)、「U01」を表示させます。さらに「P」を押すと「U02」→「U03」→「U04」の順番で表示しますので一つ選択し、「M」を押し確定させます。
- 2 次に「+・-」で「AGE」年齢を設定し「M」で決定。次に「+・-」で体重を設定し「M」で決定。次に「+・-」で時間を設定し「M」で決定します。
- 3 画面中央グラフが点滅し、お好みの負荷を「+・-」押して任意の負荷にし「M」を押して確定させてゆきます。24 段階まで登録をおえたら  を押し運動を始めます。

●HRC (H1~H3) で運動を行う場合・・・

※本機のハンドル心拍センサーを握り、心拍数をパネルに表示させ続けないと運動効果が得られませんので、ご注意ください。

- 1 「リセット」ボタンを押しスタンバイモード (オール 00 表示) にしていただき、「P」を押し (18 回)「H01 (60%)」を表示させます、さらに「P」を押すと「H02 (70%)」、「H03 (80%)」の順番で表示しますので一つ選択し、「M」を押し確定させます。
- 2 平均値にてクイックスタートする場合は「スタート」を押して心拍センサーを握り運動を始めてください。各設定を入力したい方は「M」ボタンを押し年齢を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 3 「M」ボタンを押し体重を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 4 「M」ボタンを押し時間を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
- 5 「M」ボタンを押し抵抗値を「+・-」ボタンを押して数値を合わせてください。
(抵抗値の目安は…60%=114、70%=133、80%=152、です。)
- 6 「M」ボタンを押し、最後に「スタート」を押してから、左右のハンドルの心拍センサーを握り運動を始めます。

※ 設定によっては、最大使用時間 (120 分) を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

●簡易体脂肪計について (※この機能は、あくまでも簡易的ですので参考程度にご使用ください。)

- 1 「リセット」ボタンを押しスタンバイモード (オール 00 表示) にしていただきます。
- 2 パネルの「BODY FAT」ボタンを押し、次に「M」を押し決定します。
- 3 次に「+・-」で性別を設定し「M」で決定。次に「+・-」で年齢を設定し「M」で決定。次に「+・-」で体重を設定し「M」で決定。次に「+・-」で身長を設定し「M」で決定。
- 4 左右のハンドルの心拍センサーを 25 秒ほど握ります。
- 5 数値が計測されます。(単位%)

※測れない場合” BODY FAT” を押し、再度行ってください。
運動中には計測はできません。

●回復（リカバリー）について ※運動後の心拍回復度合いが計測できます。

本機能を行う際、運動を行ってある程度心拍数を上昇させてから行ってください。

①「リセット」ボタンを押しスタンバイモード（オール 00 表示）にいただき、「スタート」を押してください。

②パネルの「RECOVERY」ボタンを押し、ハンドルのパルス部分をそれぞれ 60 秒間握ります。

③パネルの「TIME」に 60 秒からカウントダウンをしていき「0」になったときに、F1（回復度合いが大変良い）～F6（回復度合いが大変悪い）の 6 段階で表示されます。

※運動中に本機能はご使用できません。

故障かなとおもったら…

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------------|---|--|
| パネルが表示されない(点灯しない) | 充電が十分にされていない。 接続コネクタが繋がっていない | ・しばらく運動を行ってください。 改善が見られない場合には不具合の可能性 がありますので、ご連絡をしてください。 ・コネクタの接続を確認してください。 (本書 P5 を参照してください。) |
| 脈拍が出ない | 接続コネクタが繋がっていない パルス部をそれぞれ同時に握っていない。 | ・本書 P6 を参照し、コネクタの接続を再度 確認してください。 ・パルス部を同時に数秒間握ってください。 |
| 運動中に「コト」と同じところで異音 がする | ペダルが緩んでいる。 | 右のペダルをそれぞれ一旦はずし、空回しを して異音がするかどうかを確認してください。 |
| グラグラする | 床面が平らでない | ・設置場所をかえる。 ・アジャスターで調整する。 |
| ギシギシ音がる | 各ボルト等が緩んでいる。 | ・緩んでいるボルト等を一旦外しつけ直す。 ・アジャスターで調整する。 |
| パネルに「CHILD LOCK」と表示され ている。 | チャイルドロック状態になっている。 | START/STOP ボタンと M (モード) ボタンを 同時に数秒押し解除してください。 |
| パネルに E1 が表示されている。 | パネルの故障や本体内部にある電 気系統の故障が考えられる。 | 販売店、メーカー等にご連絡してください。 |

お手入れ上の注意

- 汚れや使用後の汗等は、中性洗剤を薄めて含ませ固く絞った布で拭き、その後乾いた布でふき取ってください。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗、水分等は乾いた布で拭いてください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

| | |
|-------|----------------------|
| 品名 | DK-R13 準業務用リカンベントバイク |
| 保証期間 | お買い上より1年間 |
| お買上げ日 | 年 月 日 |
| お名前 | |
| ご住所 | |
| TEL | - - |

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、輸入販売元にご依頼ください。その際、本書の有無をご連絡ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等による故障および損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所等の床面などの損傷
 - 本保証書の提示がない場合
 - 屋外にて修理を行う場合（建物の外、軒下、集合住宅の共用部等を含む）
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 準業務用以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にての対応になります。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票や購入日が証明できるものがある場合にはその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 **大広 株式会社**

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間（平日AM10：00～12：00 PM1：00～5：00）土・日・祝日休み